

夏季休業及びその前後の時期における注意喚起について

この時期は、一般に各種の事故等が起こりがちとされます。

特に、次のようなことについては、平素も注意喚起していますが、学生の皆さん各自で、また研究室・サークル等の仲間同士でも改めて確認し、本学学生としての自覚と責任感を持った行動をお願いします。

●飲酒事故等の防止

時節柄、一般に不適切な飲酒による事故等が起こりがちとされます。

特に、次のような行為は、法的・倫理的な責任も問われる危険な行為です。

- 未成年者の飲酒やそれをすすめる行為
- 飲酒の強要や意図的な酔いつぶし（“イッキ飲み”・“罰ゲーム”等を含む。）
- 飲酒運転やそれを幫助する行為

◎飲酒の席では、自他の体質・体調等に留意するとともに、酔いつぶれた人を決してひとりにせず、救急要請等を含めて適切に対応することが重要です。

●法令・規範の遵守

時節柄、一般に法令・規範から逸脱する行為も起こりがちとされます。

特に、次のような行為は、法的・倫理的な責任も問われる重大な非違行為です。

- 違法薬物・危険ドラッグ類（“脱法ハーブ”等を含む。）の所持や使用
- ハラスメントや性的な犯罪行為
- インターネットや各種媒体等における不適切な言動や情報発信

◎軽い気持ちからの行為が、取り返しのつかない事態を招くこともあります。本学の学生として、日常生活に際しても責任ある行動に留意してください。

◎法令若しくは本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為があったときは、関係規則に基づき、懲戒処分の対象となります。

●その他（熱中症事故・盗難被害等の防止）

- ・夏季には、熱中症も起こりがちです。十分な水分補給等に努めてください。
- ・不在となる研究室等も多くなります。貴重品管理等にも留意してください。

〔参考ウェブサイト〕

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/reference/notice.html>